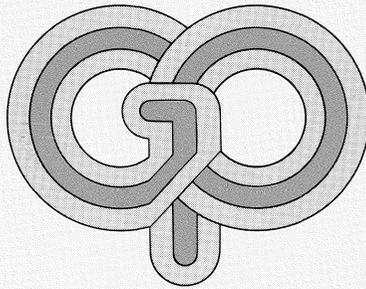


岐阜県の プラスチック



工業組合の総会開く・会員増強し、活性化を誓う
組合の定款を変更し、賛助会員制度を設ける
組合青年部も総会開き、新規約を制定し会員増強をめざす
特別バスで大阪のプラスチック・ゴム見本市を見学

デザインのすすめ
組合員の工場訪問
事務局だより

プラスチック・ゴム見本市の会場で
参加者一同が記念撮影



会員増強し活性化を誓う

工組とデザイン協会の総会開く

青年部と賛助会員制度も設ける

岐阜県プラスチック工業組合は、5月22日、午後4時から岐阜市内にある岐山会館で『第24回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第30回通常総会』を開催した。

工業組合の議題は①平成3年度事業報告・収支決算②平成4年度事業計画・収支予算③平成4年度賦課金及びその納入方法④平成4年度取引金融機関及び借入金最高限度額⑤定款の一部改正⑥工業組合賛助会員規約一の5議案である。

とくに定款の一部改正で「工業組合に青年部を置き、組合組織として活動する」また「賛助会員制度を設け、組合事業の円滑な実施に協力してもらう」ことを新しく定めた。

厳しい時期こそ 組合組織を拡大

通常総会は大松副理事長の開会あいさつで始まり、平成3年度に死去された佐藤敏雄さん（東洋化学）と高垣豊彦さん（八幡化成）の2会員に黙祷をささげ、冥福を祈った。

続いて武藤理事長が「プラスチック業界は景気後退の影響から減産体制にあるが、最近では底入れが伝えられ、素材革新の主役としてますます規模を拡大していくことには変りない。組合はこの機会に会員増強と取り組み、活力ある業界団体としての基盤を固め、ひいては組合員企業の繁栄へと導いていくことを願っている」と、総会出席者にあいさつした。



平成4年度の事業計画や予算を承認した工業組合の総会

事業計画、予算など全議案可決

総会の議事は①平成3年度の事業報告と総額4,029万余円にのぼる平成3年度決算②7項目にのぼる平成4年度の事業計画と総額4,019万円の収支予算③平成4年度の賦課金及び納入方法④平成4年度取引金融機関及び借入金最高限

度額一の各議案内容を審議し、原案どおり可決した。

技能検定・共済事業・共同購買

平成4年度の事業計画内容

このうち平成4年度の事業計画をみると、

①指導教育事業は、県・県工業技術センターはじめ関係機関の協力を得て講習会、研究会、見学会、巡回技術指導などの事業に加え、県職業能力開発協会の委託により『プラスチック成形射出成形作業』及び『プラスチック成形用金型製作作業』の国家技能検定試験を実施し、技術の向上に努める。

②情報提供事業は、会報『岐阜県のプラスチック』を年間6回発行し、緊急を要する場合は随時情報提供する。

③共済事業と共同購買事業は、自動車、車検電化製品、医薬品、衣類などディーラーや取扱店と提携して共済事業を行い、組合員及び組合

員の従業員の福利厚生に役立てる。また、従来の割賦制度はもとより従業員に有利、簡便な銀行口座引落方式により返済する。

さらに共同購買事業は離型剤、金型用棚、温調機、コンベヤーなど希望品目の枠を広げて実施、共済事業と同様に市価より相当安く提供できるようにする。

④金融事業は県、政府系金融機関より借入や設備機器などのリースのあっせん等を行う。

⑤事務代行業は、労働保険の事務委託（労働保険事務組合の認可済み）など組合員に代わって業務を行う。

⑥調査研究事業は、今年度は情報収集を重点に行う。

⑦福利厚生事業は、がん保険の特約店業務、新年互例会、レクリエーション、弔慰見舞いなどを行う。

これらの事業を進める事業予算として、総額4,019万円を計上した。

組合への理解を深める

賛助会員との交流・懇談で

工業組合は総会の席上で定款の一部改正を行った。

主な改正内容は①組合に青年部を置き、必要な事項は規定で定める②組合事業の円滑な実施に協力する企業を賛助会員とし、必要な事項は規約で定める一ことにした他、中小企業庁が定める模範定款例に基づき、脱退者の持ち分の払いもどし、資格の届出、専務理事の職務、理事会の召集、職員退職給与引当金などの項目について改正したものである。

賛助会員制度は、工業組合に協力する企業が現在8社あり、こうした協力企業を定款にはっきり位置付けし、同時に規約を定めた。その規

約内容では、組合に対する協力と理解を高め、事業活動の推進に役立てていくとし、理事会で加入を決める。賛助会員には、組合が作成した資料を提供する他、組合員との懇親会などの事業に参加、交流してもらう。

会費は1口1万円とし、1口以上を負担してもらう。

プラスチックデザイン協会も総会

工業組合の総会に続き、岐阜県プラスチックデザイン協会は第30回通常総会を開き、平成3年度の事業や決算報告を行った後、平成4年度の事業計画と予算を決めた。

年間予算は23万円で①デザイン講習会②デザイン関係の基礎資料配布③デザイン異業種交流への参加一などを実施していく。

実技の技能検定は7月に実施

検定に先立ち6月に特別講習会を開催

工業組合は岐阜県職業能力開発協会から委託をうけ、7月7日から7月29日までの11日間、岐阜県工業技術センターで平成4年度の『プラスチック射出成形技能検定』を実施する。また、これに先立って受検者を対象に『特別講習会』を6月29日から2日間行い、基礎からみっちり勉強してもらうことにした。

受検者は学科・実技ともで55人

今年度のプラスチック射出成形の受検者は、1級が学科1人、実技4人、学科・実技ともが3人、また、2級は学科14人、実技14人、学科・実技ともが19人受検する。1、2級合計では55人が受検、このうち実技だけの受検者は40人にのぼり、ハイテク時代にふさわしくレベルの高い技能検定になりそう。

このため技能検定に先立って開く特別講習会は、6月29日から2日間、実技検定試験会場と同じ県工業技術センターの講堂で開催する。講習内容は、第一日が①実技試験の解説と受検対策②学科試験の解説と受検対策。第二日は午前中が③機械取り扱い説明と加工技術一で、午後は受検日と使用機種の開選をした後、実習する。

講師は日置正首席検定委員、長屋喜八県工業技術センター職員、日精樹脂工業のサービスエンジニアがあたる。

実技の技能検定は

7月7日から2級

7月28日から1級

本番の技能検定は、7月7日から7月29日までの火、水、木曜日にあたる11日間にわたって実技検定を行う。

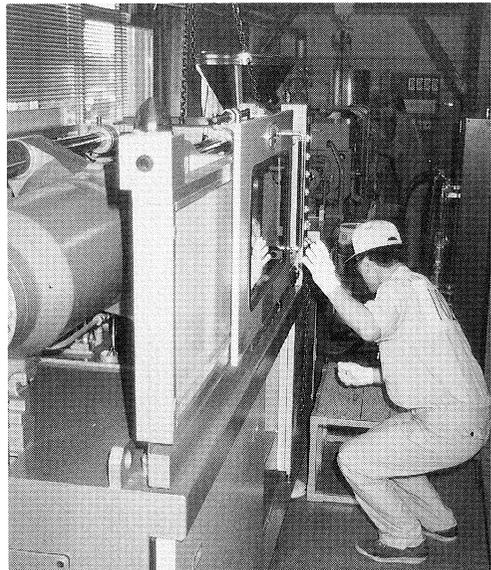
なお、実技試験採点日は7月31日に県工業技

術センターで、学科の検定試験は8月30日、岐阜大学で全国統一のもとにペーパーテストが行われる。合格者の発表は10月13日（火）に岐阜県・岐阜県職業能力開発協会から通知される。

なお、プラスチック成形の実技試験問題の概要は次の通りである。

《1級》 二種類の熱可塑性樹脂を用いて射出成形により箱状の成形品を製作し「成形収縮率計算票」及び「材料歩留まり率計算票」を作成する。試験時間は4時間。

《2級》 二種類の熱可塑性樹脂を用いて、射出成形により箱状の成形品を製作する。試験時間は3時間。



昨年度の技能検定実技試験会場から

最先端技術や機器一堂に

プラスチック・ゴム見本市を見学

インテックス大阪 周辺機器も数多く出展 で花やかに開く

『J P92大阪-第14回日本プラスチック・ゴム見本市』は、さる4月9日から14日までの6日間、大阪市南港にあるインテックス大阪の全館6パビリオンを使用し、盛大に開かれた。当工業組合は4月11日、特別バスによる見本市視察研修会を実施し、個々に各会場をじっくり見学、また商談に加わった。

J Pはプラスチックの世界三大見本市(ドイツのK、米国のN P A、日本のJ P)の一つで、これまでは2年おきに東京と大阪で交互に開催してきたが、この開催周期を改めて1年半ごとに東京は秋、大阪は春という開催のサイクルが変わった。変更後の初開催がこのJ P92大阪で「複合化技術を探る」をテーマに最新の技術や機器、さらに話題の製品を一堂に集めて開かれ、期間中の入場者は20万人を越える賑わいだった。

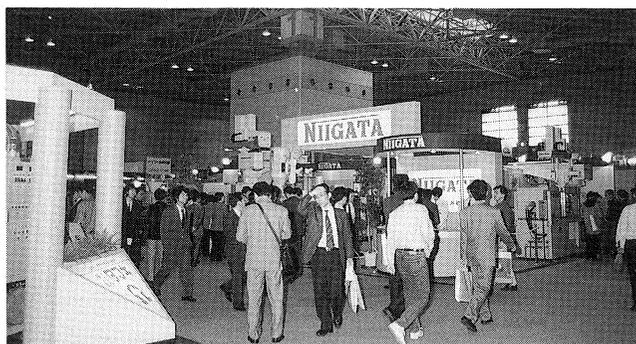
武藤理事長ら50人参加

日本プラスチック・ゴム見本市は、見本市振興会を特別に組織し通産省などが後援、36の業界団体が協賛して開かれた。

その規模は前回の東京や大阪に比べやや縮小したものの、景気低迷の最中だけに出展した商社・メーカーの売り込みにはかなりの熱が入っていた。

出品企業は462社、展示小間数は1,972小間。また、海外での関心の高さを裏付けるように15カ国から108社が出品、世界各国から多数の外国人が訪れ、一段と国際色豊かな見本市になっていた。

主催した見本市振興会は「景気後退にかかわらず、期間中盛り上



6つのパビリオンに462社の展示商品がぎっしり
各館とも小間の半数が成形機の商社・メーカー

がり入場者は20万人を越え、次回の東京開催の来年10月につながることができた」と見ている。

6館に分かれ実演展示

会場は6館に分かれ、各館ともハイテク時代にふさわしく、プラスチックやゴムの原料、製品、機械、付属装置などの分野から先端の技術、最新情報が一堂に展示、また実演されていた。各館を回って見ると、成形機の出品が展示小間の半数近くを占めていたので、成形機に焦点をあててみた。

F Aモデルでは、日精が9台のパソコンを駆使した完全無人化モデル工場を展示した。成形品を測定→ラベルプリンターでデータの統計値を打ち出し→箱ごとに貼り→ロボットカーで倉庫へ収納していく。将来のために一見の価値はあった。名機はトータル管理システムを出展、多品種生産ローコスト管理に役立つというもの。

油圧を可変する成形機

インサート成形では、山城と川口で見られた。川口ではインサート作業をロボットにさせていた。系列企業の川口興産がロボットを得意としていることから、キャビティー別にゲートカットして選別する機構で、スピードアップした取り出し機が参考になった。

省エネ技術では、これまで大型機になるほど消費電力の増大に悩



参観者でぎっしりの中型射出成形機メーカーの小間



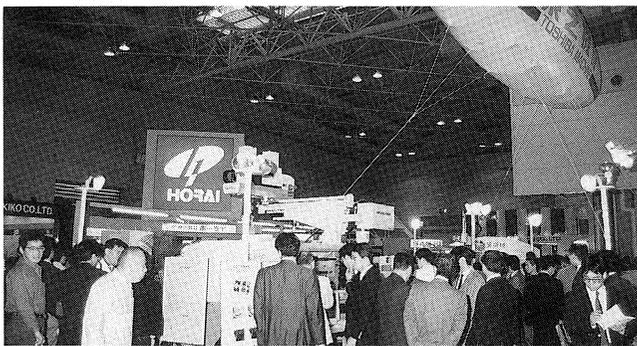
会場の各所に設けられた展示小間の案内板や休憩所



みがあったが、川口はファジィポンプ（可変吐出ポンプ）を採用、解決した。ユーザーの無駄な出費を考え、油圧の不要なときはポンプの吐出を少なく、型締めなど大容量の油圧を必要なときは、大きな吐出量になるようにファジィポンプを採用した。

ハイショットも登場

超精密成形機では、日鋼が油圧駆動、日精はエア駆動を展示。これまで不可能とされていたサブミクロンオーダーの超精密を要求される成形品に対応、開発した。東芝は型開き検出1マイクロメートルという超精密に挑んでいた。

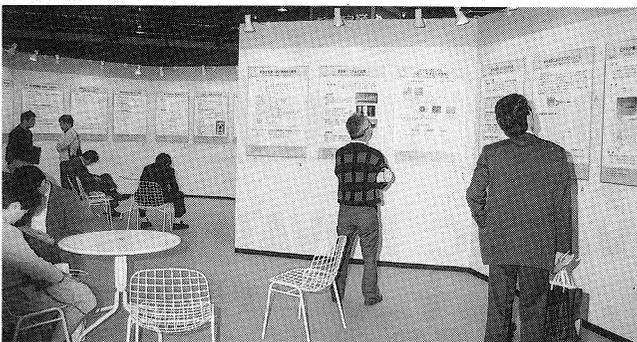


アドバルーンやグライダーで展示小間をアピール

ハイショット・ハイサイクル機械では、東芝、住友、名機、日精の展示小間で見ることができた。日精の同時動作による省時間をねらったハイサイクル化は、アイデアとして関心を集めていた。

未来志向の射出成形機

未来志向型の射出成形機も登場し、話題になっていた。放電加工メーカーのソデックが、リバイバルと考えられる「スクリューブリング方式」の成形機にNC制御装置を搭載、商品化したもの。可塑化機構とホッパーサイドとの間、およびプラテンの断熱材をお得意のセラミックスを使用し、長年、バーク板やアスベストを使用していた業界では参考になる。



がんばった海外メーカー。産学官の交流広場も初登場

青年部を組合組織に位置付ける

— 上部団体の中小企業青年中央会へ加入 —

工業組合は、5月22日の通常総会で定款変更し、親睦組織であった『組合青年部』を組合組織に位置付けした。今後の若い力の活動が期待される。

規約を制定し顧問に武藤理事長

組合青年部は昭和58年、加藤法康氏（日本工芸社長）を初代の部長に創立し、いろいろ研修・見学・懇親などの活動をし、現在は長谷典雄氏（信和工業専務）を部長に18人が所属している。組合青年部はこれを機会に上部団体である岐阜県中小企業青年中央会へ加入し、異業種組合青年部と交流を図るとともに、組合事業に積極的に参加していくことになった。

これに先立ち組合青年部は5月9日、第11回総会を開き①平成3年度事業報告・決算②平成4年度事業計画・予算③青年部規約の制定④岐阜県中小企業青年中央会への加入⑤顧問の委任を議題に協議した。

平成4年度は組合からの助成費を含め206万5千円を事業費に、研修会や研修旅行を実施していく。また、青年部規約は17条の項目からなり目的を「次代を背負う若きリーダーを中心に組織し、組合の健全な発展を図るとともに企業の

合理化、近代化及び高度化を推進するために部員の研修と連携を深め、よりよい経営者、指導者をつくる」とし①各種研修会の開催②各種情報交換及び提供③組合への建議、陳情、提言④福利厚生事業一などの事業に取り組んでいく。

また、14条では顧問を置くことにし、親組合の武藤昭三理事長に委嘱した。

雇用保険率の引き下げ

労働保険の事務処理します

労働保険は「雇用保険」と「労災保険」があり、全事業所に適用されています。このうち雇用保険率が4月1日から引き下げられました。新しい保険率は、千分の12.5（従来は千分の14）で、その負担割合は一般の製造業の場合事業主が千分の8、被保険者は千分の4.5に改正されました。

事務処理については工業組合へ委託を。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6320(大代表) (〒100)

○サービスマーク制度にご注意○

特許庁は4月1日に「サービスマーク登録制度」を施行し、サービスマーク登録出願の受付業務を開始したが、最近、この登録制度に行き過ぎPRが行われ、出願者に不安感を与えている。問題になった事例は「会社や旅館のマークは登録しておかねば、先に登録した人から差し止めを受ける」「暴力団が同じサービスマークを登録し、嫌がらせをする恐れがあるので登録したほうがよい」などと、出願登録業務を強要するケースである。

このため特許庁審査第一部商標課はガイドラインを設け、指導している。それによると①現に使っているサービスマークはそのまま使える継続使用権が認められたからで、正確には現在使っていないくても、今年9月30日までに使い始めればよい②会社やホテル、旅館の名称、また、シンボルマークはサービスマークである。継続的使用権で十分な場合は、あえて登録する必要はないが、商標権として積極的に保護したい時は出願登録すること。この場合、部屋や客室の名称はサービスマークでないとはっきり定めている。

なお、この登録制度にもとづき使用中のサービスマークを出願登録すると、日本全国におよ

ぶ商標権が与えられる。その権利は登録の日から10年間存続し、更新もできる。

○7月にサービスマーク説明会○

特許庁は4月1日に施行された「サービスマーク登録制度」を広く周知徹底するため、制度の説明会を開催する。

岐阜県と愛知県の会場は次のとおり。

▽岐阜県会場＝7月2日、午後1時から4時30分まで。会場はサンレイウ岐阜、岐阜市藪田東1、岐阜県庁前。

▽名古屋会場＝6月30日、午後1時から4時30分まで。会場は名古屋市中区栄2、名古屋商工会議所2階ホール。

対象は個人、企業、団体で、講師は特許庁の担当者。参加費は無料。

○職安の求人取り扱い日程決る○

岐阜県公共職業安定所は、平成5年3月新規学卒予定者の求人取り扱い日程を決めた。

中学校・高等学校卒業者は6月20日から公共職業安定所における求人受理、推薦開始は中学が新年1月1日、高校は9月5日から。大学・短大・高専等卒業者は6月から求人受理を開始し、企業説明会及びリクルーターとの接触は7月初旬から、採用内定開始は10月1日から。

 **東芝機械株式会社**

本 社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

紺ブレ

タイトルは「紺色のブレザー」のこと。この何の変哲もない紺色の上着を、銀座のビジネスマンの10人に1人は着ているというデータ（東京生活研究所調査）がある。「個性化」「多様化」「自己実現の時代」などを拠所に、短サイクルで変化する流行で消費者を巻き込んで来たファッション業界にとって、消費者の“紺ブレ”支持は予想外のことと受け止められている。

「売れるのはベーシックな服ばかりで、デザイナー提案は前評判の割りに売れない」。時代を鋭敏に映して来たファッション業界で近年、高額トレンド商品が売れずに値頃感を重視した商品がよく売れ、デパートの売場では商品構成見直しが進んでいる。バブル経済が弾けたいま、消費者の購買行動にも変化が起きているが、その背景には、「オシャレを特別なことではなく、普通のことと考えて、自分を基準にしたファッションを楽しむ」という消費者の価値観の変化があるようだ。

自己表現＝外見＝他人との差別化と考える消費者が80年代には多く見られたが、最近では逆

に良好なコミュニケーションを図るために、むしろ他人との差別化を避ける傾向さえ見られる。また、付加価値（フランス、イタリアのファッション）よりも使用価値（トラッド）重視へとの分析もされている。これは世界的な傾向で、アメリカの市場戦略では「リアル」がキーワードになっているという。「地に足の着いた」リアルライフのための生活提案へと、市場戦略は大きく転換している。

消費者の個性化や多様化に対応するために生まれた多品種・少量生産は、消費者への提案性に欠けた戦略であったと考えられるし、生産や物流効率面からも多くの問題を含んでいる。デパートの売場における商品構成の見直しも、消費者の“実像”に向けたリアルライフへの提案を中品種・中量生産で行い、売れ筋に結びつけようというものだ。ともかく“紺ブレ”に象徴的に見られる消費者の、自身の実像にあった調和のとれたリアルライフ志向に対して、センスと品質が良く、しかも値頃な商品をいかに提供できるか、このことはあらゆる業界に突き付けられた課題と言えそうである。

（岐阜県工業技術センター

技術振興部）

出光の石油化学製品

ポリスチレン

スチレン系耐熱樹脂

ポリカーボネート

GFPET

ポリプロピレン

高密度ポリエチレン

直鎖状低密度ポリエチレン

カルブ®



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎ 052-204-6051~3

新工場の稼働で投資効果が出る

(株)武藤化成工業所

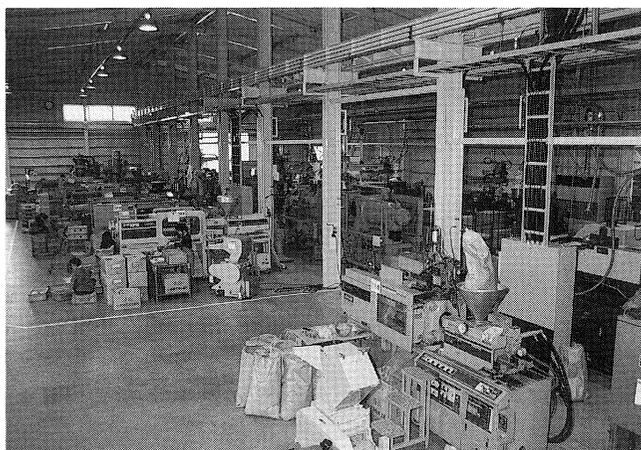
組合員の工場訪問は、5月に新工場を稼働させた株式会社武藤化成工業所（武藤幸平社長、資本金1,000万円）を訪ねた。新工場は東海北陸自動車道的美濃インターに近い武儀郡武芸川町跡部。というよりも旧工場から武芸川沿いに約500メートル遡ったところ。

7年前、将来を見越して住宅用に造成された広大な用地（6,600平方メートル）を入手、昨年5月くらい1年がかりで建設工事を進めてきたという。

自慢は金型工場つきの成形工場

完成した工場の規模は、1,250平方メートルの成形工場、それに連なる二階建延べ330平方メートルの本社事務所。あとはプレハブの倉庫と広い駐車場からなる。

ずらり並ぶ成形機はたて型ロータリー2台を含め、合計22台。とくに旧工場から移設した6台の220トンと、新設した280トンの中型成形機



広い新工場、成形工場には22台の中・小型成形機が並ぶ



武藤化成の新工場全景

が並ぶ様は壮観である。新工場を説明する武藤さんは「もう一つの自慢は金型工場です。弟の茂専務が担当する金型部門には、NCフライスや放電加工機をはじめ必要な機器を揃え、大きな戦略になりました。これで納期の余裕さえあれば100%自社加工できますよ」。

さらに「労働福祉事業団の融資を受けての思い切った設備投資でしたが、有形・無形の効果が現われています。その一つが従業員の確保。新工場が出来てからは必要な増員がすぐ行え、23人から31人に増えました」と話す。

1級技能士の資格持つ武藤兄弟

武藤兄弟は、業界では評判の努力家。二人とも岐阜県下に11人しかいない技能検定1級の持ち主である。創業して22年、兄弟のひたむきな努力が受注先の信用を得て、また、よい人材に恵まれ、活気みなぎる成形工場を作りあげたといえよう。

最後に武藤さん「現在の成形品目は刃物関連30%、日用雑貨45%あとの25%は教材などの加工ですが、将来的には利益率の高い自社開発製品を加えてみたい」とビジョンを描く。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□総会への出席有難うございました□

平成4年度の新事業計画やその事業予算を決める工業組合の通常総会が、5月22日、岸上県工業技術センター場長ら来賓、また、会員多数の出席をえて、岐山会館で開催しました。

とくに今回は事業計画や予算のほか定款の一部変更を行い、組合青年部を組合組織に位置付けしたり、賛助会員制度を設けて組合事業の円滑な実施に協力してもらうことにしました。

総会の内容はトップ記事で紹介しましたとおりで、事務局としましては事業計画に示された共済事業、共同購買事業、福利厚生事業などに取り組んでいきます。

□事務局長が代りました。よろしく□

新年度から、これまで事務局長をされていた青木隆二さんが退職され、その後任として私（竹内安之）が着任しました。長年、岐阜県職員として奉職（県消防学校長、県庁総務部消防防災課長



岐阜メモリアルセンター事務局長など）しました経験を活かし、岐阜県のプラスチック業界のお役に立ちたいと思います。よろしくお願いたします。

□組合の青年部へ加入してください□

工業組合青年部も総会を開き、親組合の定款にはっきり位置付けされたのを機会に青年部規約を定め、研修会など新しい活動内容について話し合いました。

それには「会員の増強が第一」だという結論に達し、次代を担う若きリーダーづくりに取り組むことにしました。現在、青年部会員は18人で、発足時に比べ増えておりますが、まだまだです。二世経営者のもとより、若手経営者の方々、青年部へ加入し活躍してください。

岐阜県のプラスチック 1992 106号

平成4年6月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内安之

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスブレン®

エチレン酢酸ビニル
塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

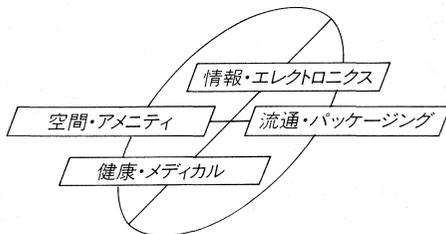
名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

ShinEtsu

Value-Tech for LIFE

確かな技術で、大きな価値を



信越ポリマーは産業、そして生活の場に“価値あるカタチ”をお届けするため、的確なニーズの把握と新しい技術開発への挑戦を続けています。“価値ある製品づくり”を通じて、豊かさを追い求める社会の要請に、タイムリーにお応えしていきます。

信越ポリマー株式会社

名古屋支店

〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル
Tel. 052-581-4231

ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0661

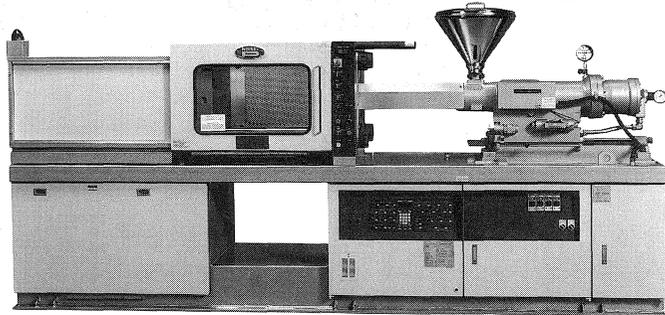
射出成形機の新たな到達点「FE」。 「FS」の卓越した基本思想を継承し登場。

FE

- コンパクト設計
- FA化の推進
- 高剛性・高効率

FEシリーズ

- FE80S ●FE120S ●FE160S
- FE210S ●FE260S ●FE360S
- FE460S



NISSEI

日精樹脂工業株式会社

岐阜出張所 / 岐阜県岐阜市番部寺屋敷3-4番ビルF ☎0582-72-5952

★名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568)75-9555(代)

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三則ビル1F ☎(0564)52-1430

三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716

●本社・工場・技術研究所 千389-06 長野県坂城町南条2110 ☎0268-82-3000(大代表)

●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・大阪・名古屋

●営業所 / 全国10ヶ所 ●出張所 / 全国24ヶ所 ●海外サービスステーション / 26ヶ所

次代を示す先端技術「FEシリーズ」

世界のベストセラー「FS」は、精密安定を基本理念しながら、その高品質、高精度、耐久性、省エネ、優れた操作性といったあらゆる面において、皆様から高い評価をいただきました。今回ラインナップした「FEシリーズ」は、この「FS」の卓越した基本思想を継承し、さらに発展。コンパクト設計による省スペース化、スペーサーを必要しないため、金型交換のFA化を一層推進、さらに型剛性の向上による長期安定成形を実現しました。つねに「お客様の利益を考えながら、高付加価値成形を提案する」No.1メーカー、NISSEIならではの真備です。

ハイテクノロジーに挑戦

MEIKI

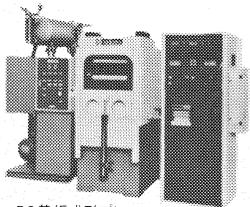
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、
IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



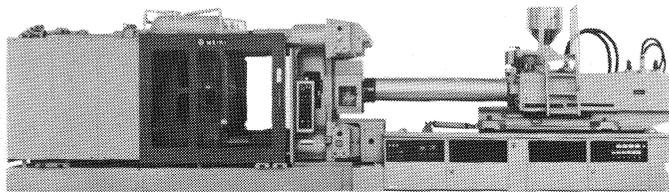
セラミック専用機



ディスク専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社

名機製作所

本社・工場

〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111(代)

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は...

JSR 合成樹脂ワイドセレクション

JSR ABS

イッパンヨウ
コウキノウ

タイコウセイジュシ

JSR AES

チヨウタイネツジュシ

JSR XT

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NC

ジコシヨウカセイジュシ

JSR NF

PVCキョウカヨジュシ

JSR MBS

フクゴウガタイネツジュシ

JSR EXCELLOY

ドウデンセイジュシ

JSR CONDUCTOR

JSR AS

コウキノウガタASジュシ

JSR RB

フタジエンジュシ

JSR TR

ネツカソセイエラストマー

JSR SIS

ネツカソセイエラストマー

NYLON 46

NYLON 6. PET-G

コウキノウポリマーアロイ

MAXLOY

DYNA FLEX

エラストマーケイフクゴウサイ

LINK FLEX

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24

☎(03)5565-6537

大阪支店☎(06) 203-0041

名古屋支店☎(052)571-1231

広島支店☎(082)221-7252



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

いろいろ組み合わせで グルメ満足

グルメセット

個食サイズの惣菜がますます増えています。4アイテムで20種以上の組み合わせを可能にした、新しいタイプの個食用シリーズグルメセットです。セット組み販売により、売り場をさらに大きく展開できる個性が魅力です。



 **リスパック株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社：岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
- 生産本部：各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- リスバック(株)
- リス(株)
- 東北リス(株)
- 東京リス(株)
- 大阪リス(株)
- 四国リス(株)
- 九州リス(株)
- リスエンジニアリング(株)